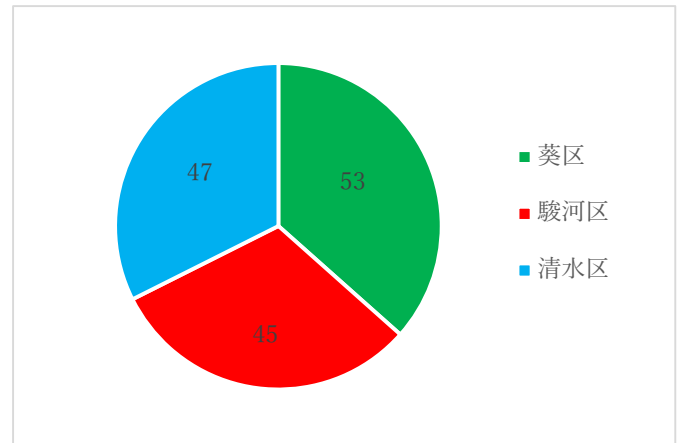


「市民の寄付意識」に関するアンケート調査

- 1 調査目的 市民活動団体は、公益性が高く、行政の手の届かない分野への支援を一部担っている、市民生活にはなくてはならない存在です。しかし、市民活動団体が活動を行うための資金を調達することは大きなハードルとなっています。市民の皆さんの寄付に対する考え方などについてご意見を伺い、今後の市民活動団体への支援策等の参考とするため、市民アンケートモニター調査を実施しました。
- 2 調査対象 市政アンケートモニターとして委嘱した市内在住の150人
- 3 回収件数 145件（回収率 96.7%）
- 4 調査方法 インターネットによるアンケート調査
- 5 調査期間 令和5年7月19日（水）～令和5年7月25日（火）
- 6 担当課 市民自治推進課
- 7 回答者の属性

（1）居住区

居住区	回答数	割合
葵区	53	36.6%
駿河区	45	31%
清水区	47	32.4%
合計	145	100%



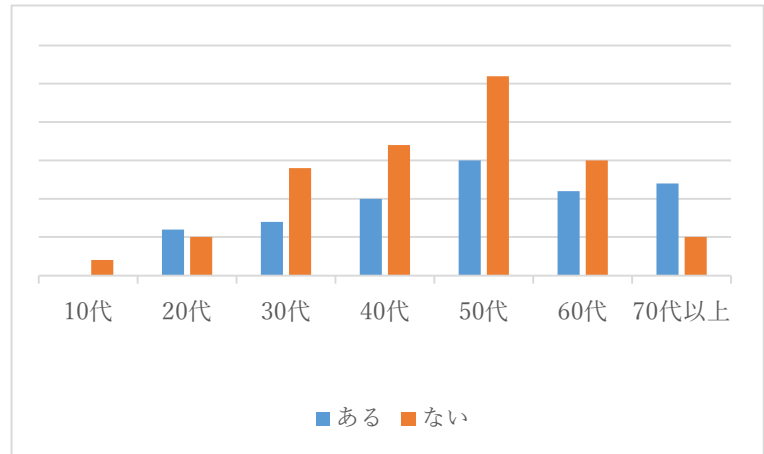
（2）年代

年代	男性	女性	その他	回答しない	回答数
10代	0	2	0	0	2
20代	1	10	0	0	11
30代	5	15	0	1	21
40代	3	21	1	2	27
50代	15	26	0	0	41
60代	10	16	0	0	26
70代以上	11	6	0	0	17
合計	45	96	1	3	145

8 調査結果・概要

Q1：直近3年間に於いて寄付（金銭だけでなく物資等の提供も含みます）をしたことがありますか。なお、ふるさと納税による寄付は除外して回答してください。

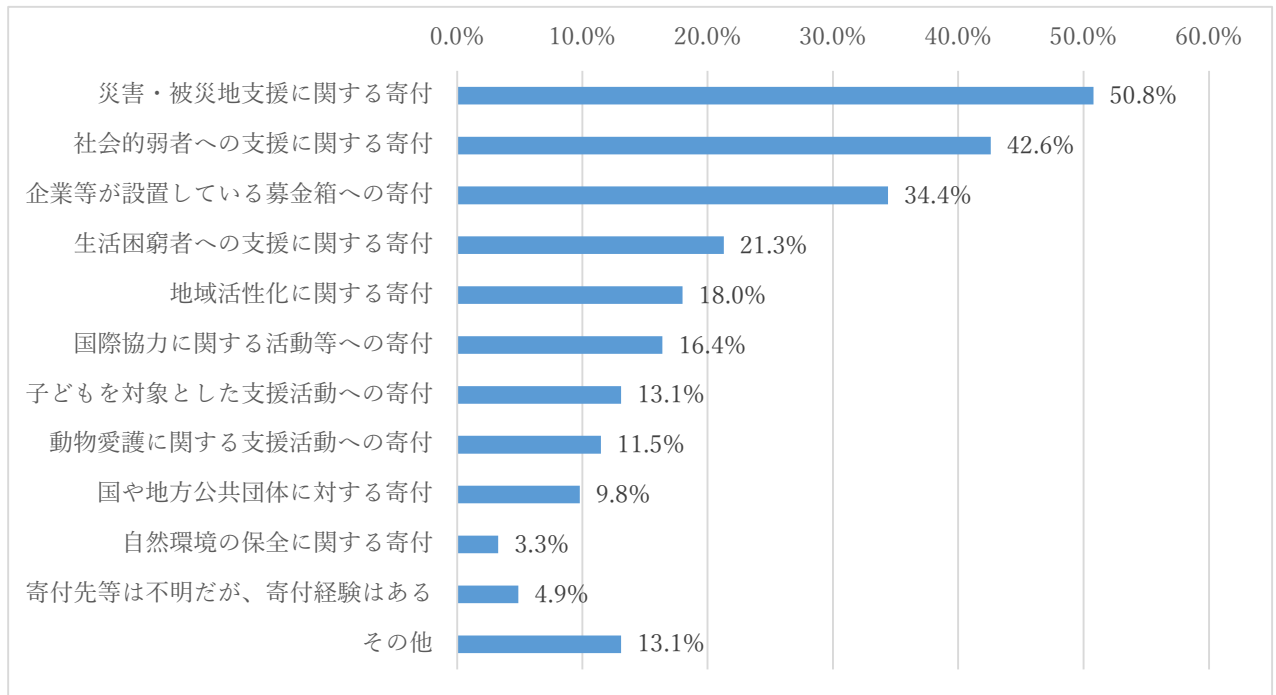
年代	ある	ない
10代	0	2
20代	6	5
30代	7	14
40代	10	17
50代	15	26
60代	11	15
70代以上	12	5
合計	61	84



Q2：直近3年間に於いて、寄付をしたことがあるものをすべて選んでください。（N=61）

項目	回答数	割合
災害・被災地支援に関する寄付	31	50.8%
社会的弱者への支援に関する寄付	26	42.6%
企業等が設置している募金箱への寄付	21	34.4%
生活困窮者への支援に関する寄付	13	21.3%
地域活性化に関する寄付	11	18.0%
国際協力に関する活動等への寄付	10	16.4%
子どもを対象とした支援活動への寄付	8	13.1%
動物愛護に関する支援活動への寄付	7	11.5%
国や地方公共団体に対する寄付	6	9.8%
自然環境の保全に関する寄付	2	3.3%
寄付先等は不明だが、寄付経験はある	3	4.9%
その他	8	13.1%

令和5年度 静岡市市政アンケートモニター調査

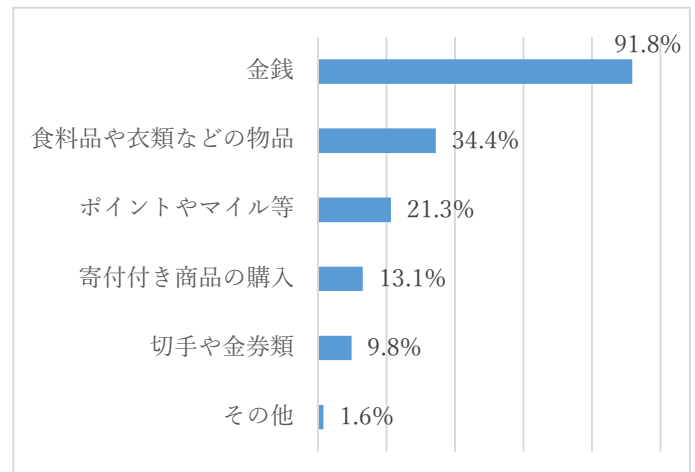


<その他の意見>

- ・大学生が主体の団体が不要な学用品を集めて海外に寄付する取組みをしていたので寄付した。
- ・文学館の維持
- ・本
- ・医療関係の支援の為の寄付
- ・災害を受けた農家に対するクラウドファンディング
- ・選挙
- ・寺院が被災したので寄付をした
- ・神社への寄進

Q3：寄付をしたことがあるものをすべて選んでください。（N=61）

項目	人数	割合
金銭	56	91.8%
食料品や衣類などの物品	21	34.4%
ポイントやマイル等	13	21.3%
寄付付き商品の購入	8	13.1%
切手や金券類	6	9.8%
その他	1	1.6%

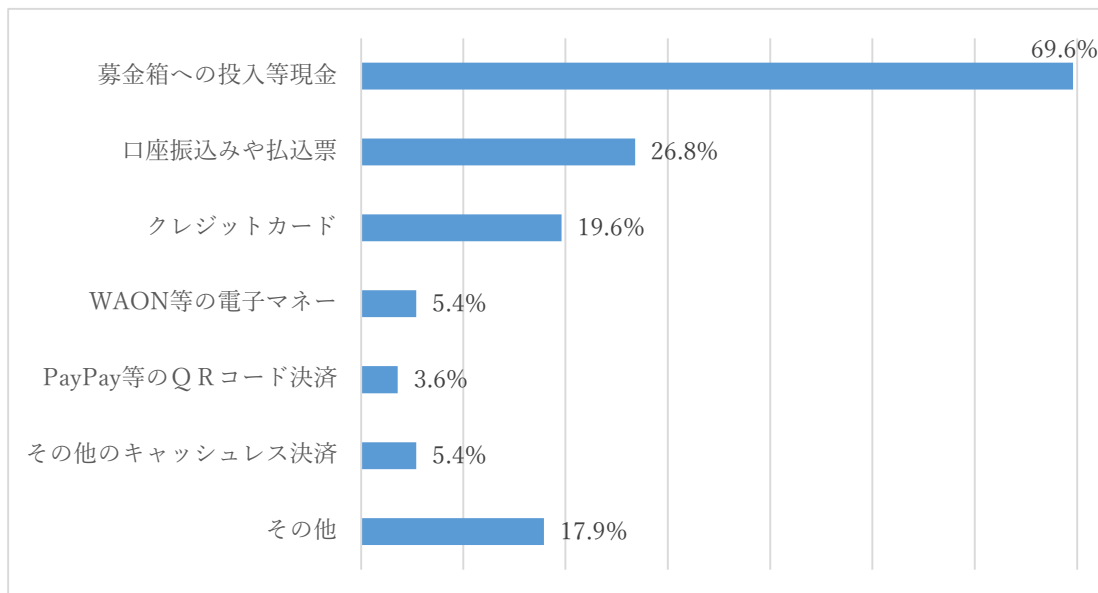


<その他の意見>

- ・本

Q4：「金銭」の寄付はどのような方法で行いましたか。該当するものをすべて選んでください。
(N=56)

項目	回答数	割合
募金箱への投入等現金	39	69.6%
口座振込みや払込票	15	26.8%
クレジットカード	11	19.6%
WAON等の電子マネー	3	5.4%
PayPay等のQRコード決済	2	3.6%
その他のキャッシュレス決済	3	5.4%
その他	10	17.9%



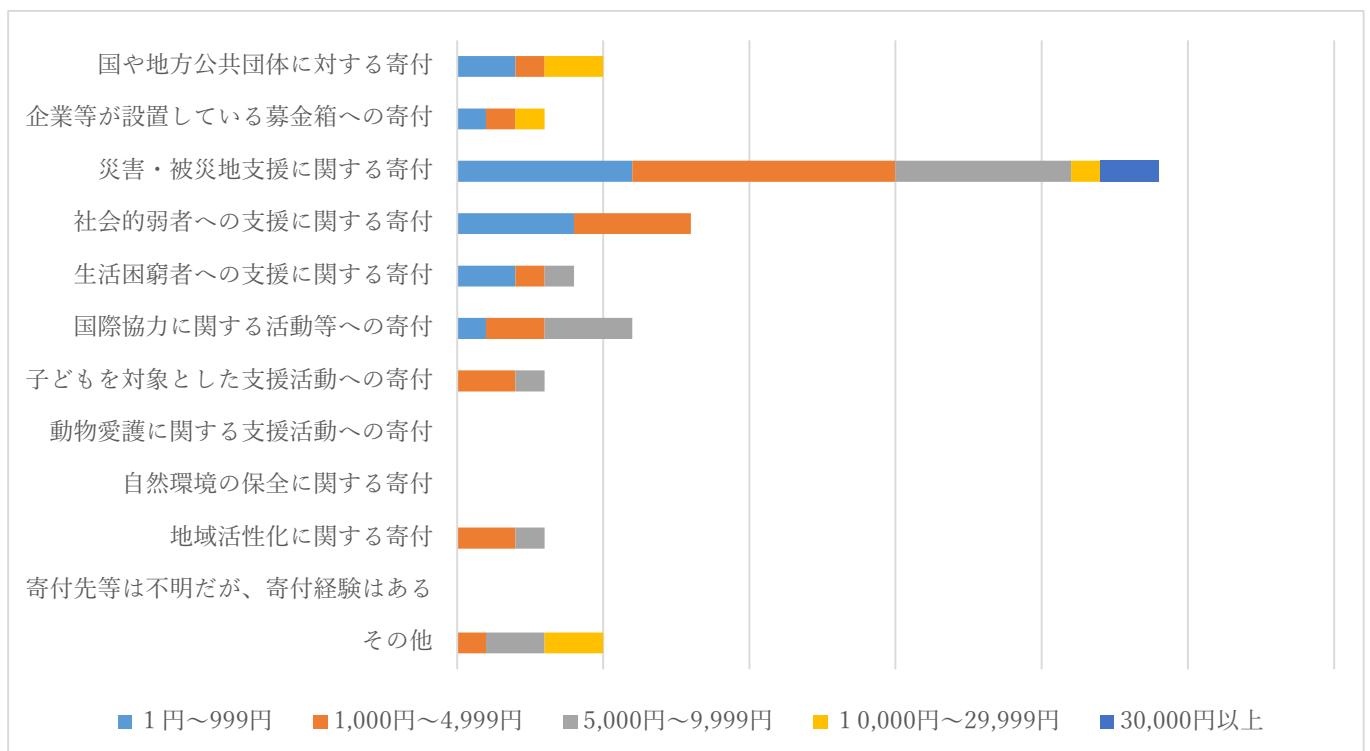
<その他の意見>

- ・町内会
- ・現金
- ・自治会費からの一括寄付
- ・直接団体の事務所へ持参
- ・寄付金額がふくまれた商品を現金で買う仕組みのものを購入
- ・宅配で月精算で引き落とし。
- ・お祭りの寄付
- ・マンションの管理費の中に8月のお祭りの寄付が含まれている
- ・電話をかけると寄付に繋がる場所
- ・クレジット利用ポイントから

Q5：1回あたりの寄付金額のうち、最も高額だった寄付と最も低額だった寄付について教えてください。(N=61)

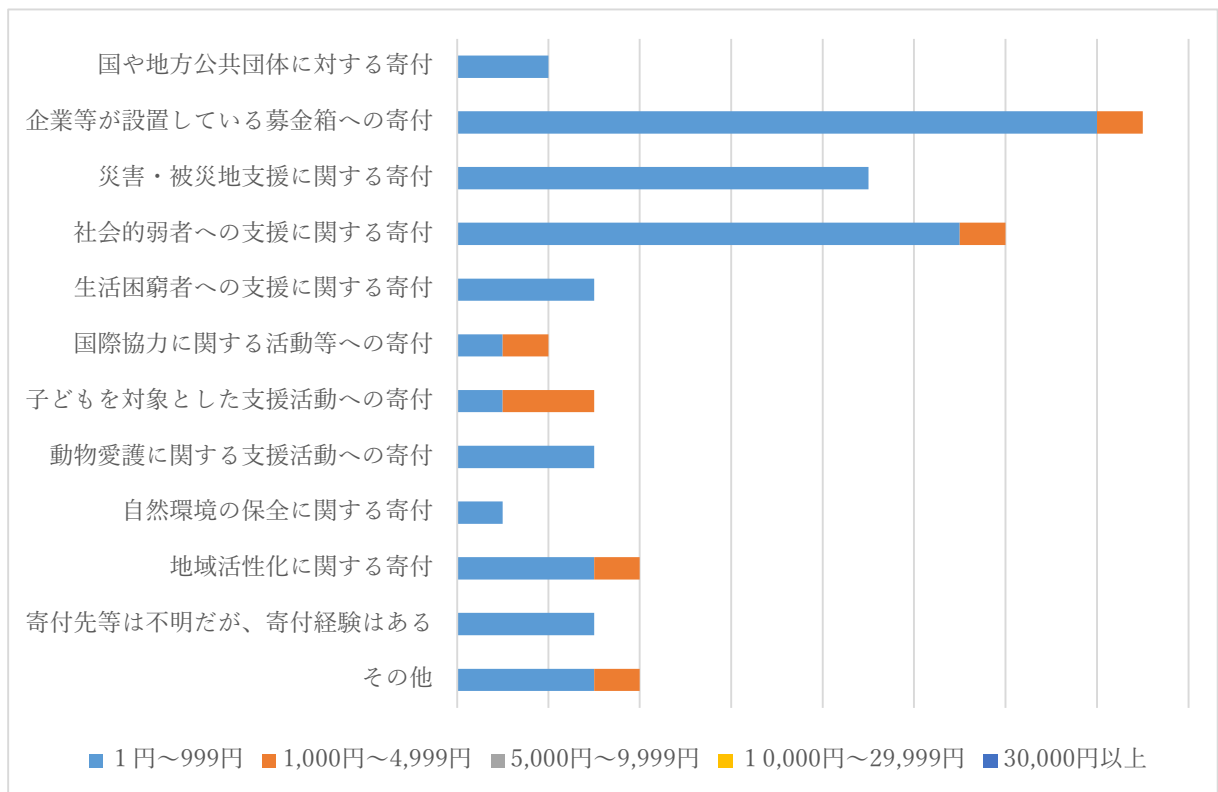
(1) 最も高額だった寄付

項目	1円 ～ 999円	1,000円 ～ 4,999円	5,000円 ～ 9,999円	10,000円 ～ 29,999円	30,000円 以上	合計
国や地方公共団体に対する寄付	2	1	0	2	0	5
企業等が設置している募金箱への寄付	1	1	0	1	0	3
災害・被災地支援に関する寄付	6	9	6	1	2	24
社会的弱者への支援に関する寄付	4	4	0	0	0	8
生活困窮者への支援に関する寄付	2	1	1	0	0	4
国際協力に関する活動等への寄付	1	2	3	0	0	6
子どもを対象とした支援活動への寄付	0	2	1	0	0	3
動物愛護に関する支援活動への寄付	0	0	0	0	0	0
自然環境の保全に関する寄付	0	0	0	0	0	0
地域活性化に関する寄付	0	2	1	0	0	3
寄付先等は不明だが、寄付経験はある	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	2	2	0	5
合計	16	23	14	6	2	61



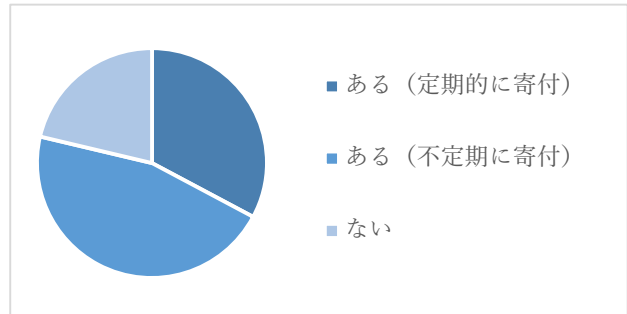
(2) 最も低額だった寄付

項目	1円 ～ 999円	1,000円 ～ 4,999円	5,000円 ～ 9,999円	10,000円 ～ 29,999円	30,000円 以上	合計
国や地方公共団体に対する寄付	2	0	0	0	0	2
企業等が設置している募金箱への寄付	14	1	0	0	0	15
災害・被災地支援に関する寄付	9	0	0	0	0	9
社会的弱者への支援に関する寄付	11	1	0	0	0	12
生活困窮者への支援に関する寄付	3	0	0	0	0	3
国際協力に関する活動等への寄付	1	1	0	0	0	2
子どもを対象とした支援活動への寄付	1	2	0	0	0	3
動物愛護に関する支援活動への寄付	3	0	0	0	0	3
自然環境の保全に関する寄付	1	0	0	0	0	1
地域活性化に関する寄付	3	1	0	0	0	4
寄付先等は不明だが、寄付経験はある	3	0	0	0	0	3
その他	3	1	0	0	0	4
合計	54	7	0	0	0	61



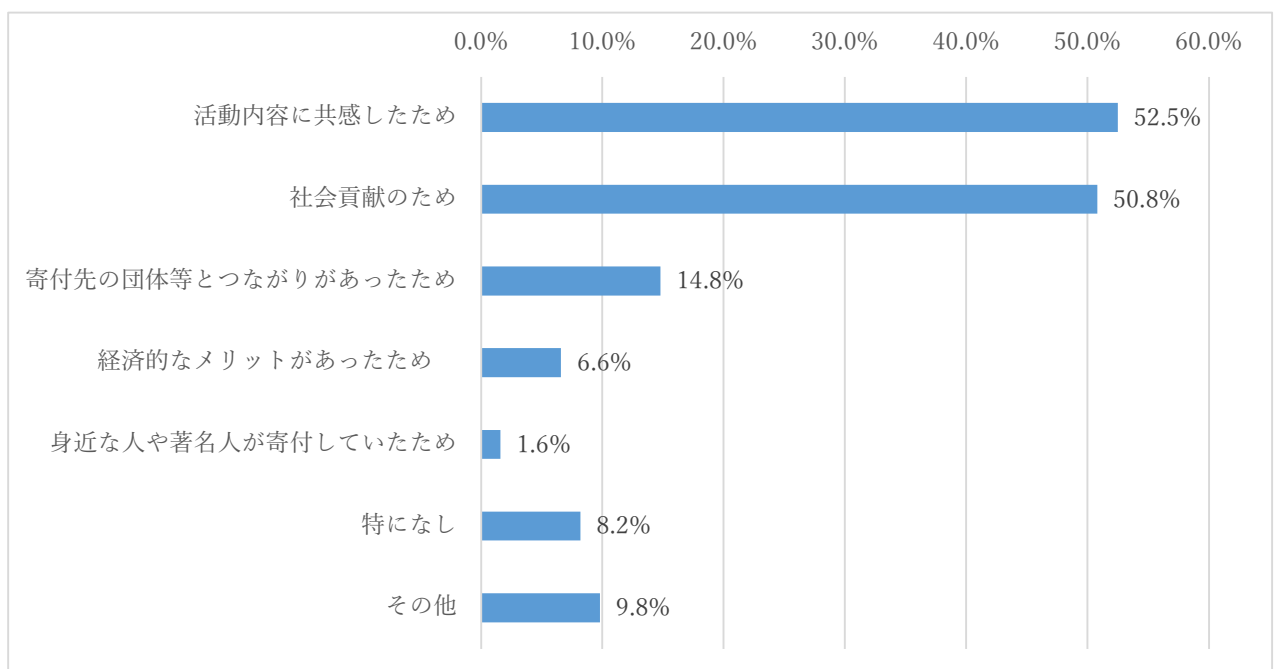
Q6：同じ寄付先に複数回寄付をした経験はありますか。(N=61)

項目	回答数
ある（毎年1回など、定期的に寄付している）	20
ある（不定期）	28
ない	13
合計	61



Q7：寄付をした理由やきっかけをすべて選んでください。(N=61)

項目	回答数	割合
活動内容に共感したため	32	52.5%
社会貢献のため	31	50.8%
寄付先の団体等とつながりがあったため	9	14.8%
経済的なメリットがあったため	4	6.6%
身近な人や著名人が寄付していたため	1	1.6%
特になし	5	8.2%
その他	6	9.8%



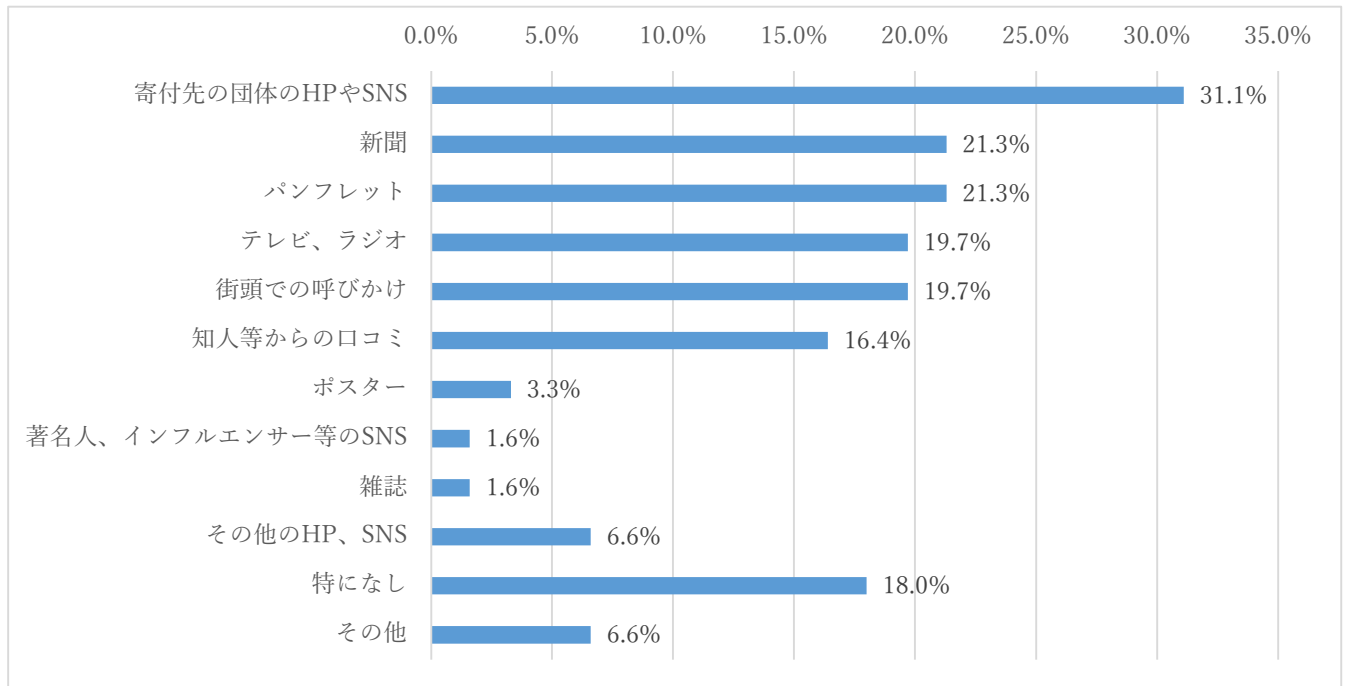
<その他の意見>

- ・捨てるには惜しい物や自分にとっては不要なものでも、必要な人の手に渡れば有効活用できると思ったため
- ・食べ物が余ったから
- ・1円のお釣りだったから
- ・町内会で回覧で回ってくる
- ・自宅では不要のものでも、まだ使用可能なものを捨てることなく活用するため
- ・捨てるにはもったいない衣類、雑貨を誰かに再利用して欲しいと思ったから

Q8：寄付先の団体や活動を知ったきっかけをすべて選んでください。(N=61)

項目	回答数	割合
寄付先の団体のHPやSNS	19	31.1%
新聞	13	21.3%
パンフレット	13	21.3%
テレビ、ラジオ	12	19.7%
街頭での呼びかけ	12	19.7%
知人等からの口コミ	10	16.4%
ポスター	2	3.3%
著名人、インフルエンサー等のSNS	1	1.6%
雑誌	1	1.6%
その他のHP、SNS	4	6.6%
特になし	11	18.0%
その他	4	6.6%

令和5年度 静岡市市政アンケートモニター調査

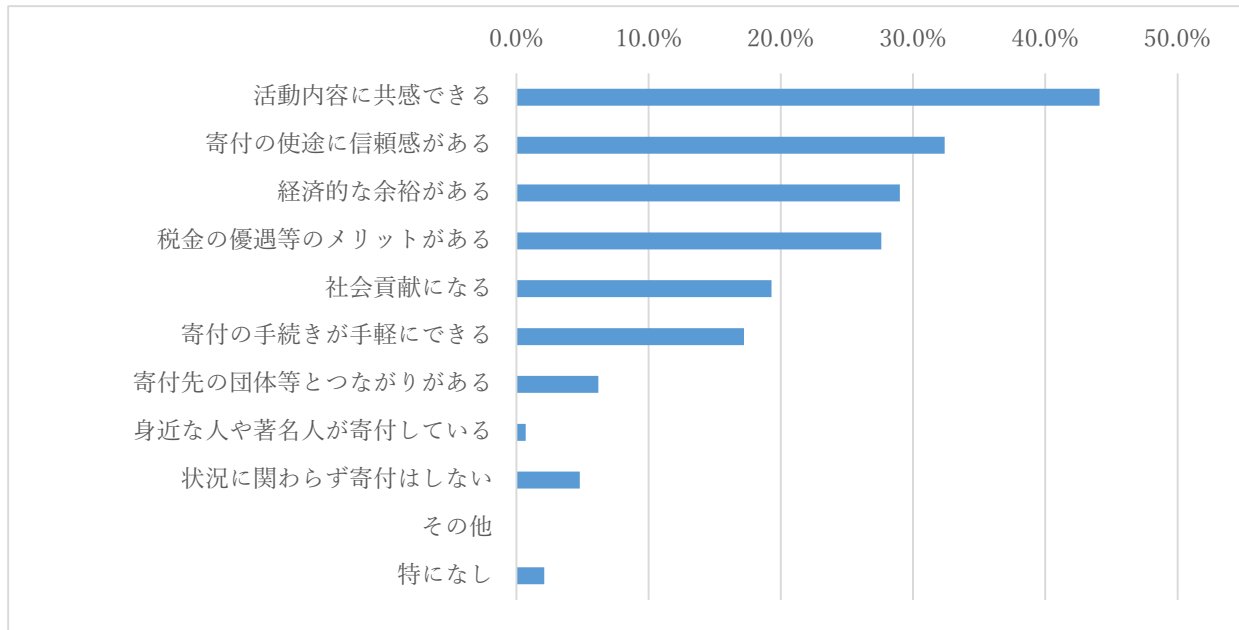


<その他の意見>

- ・町内会の呼びかけ
- ・店頭のPOP
- ・寄付付き商品の購入
- ・書籍、店頭

Q9：どのような状況であれば寄付を行いたいと思いますか。主要なものを2つ選んでください。(N=145)

項目	回答数	割合
活動内容に共感できる	64	44.1%
寄付の使途に信頼感がある	47	32.4%
経済的な余裕がある	42	29.0%
税金の優遇等のメリットがある	40	27.6%
社会貢献になる	28	19.3%
寄付の手続きが手軽にできる	25	17.2%
寄付先の団体等とつながりがある	9	6.2%
身近な人や著名人が寄付している	1	0.7%
状況に関わらず寄付はしない	7	4.8%
その他	0	0.0%
特になし	3	2.1%

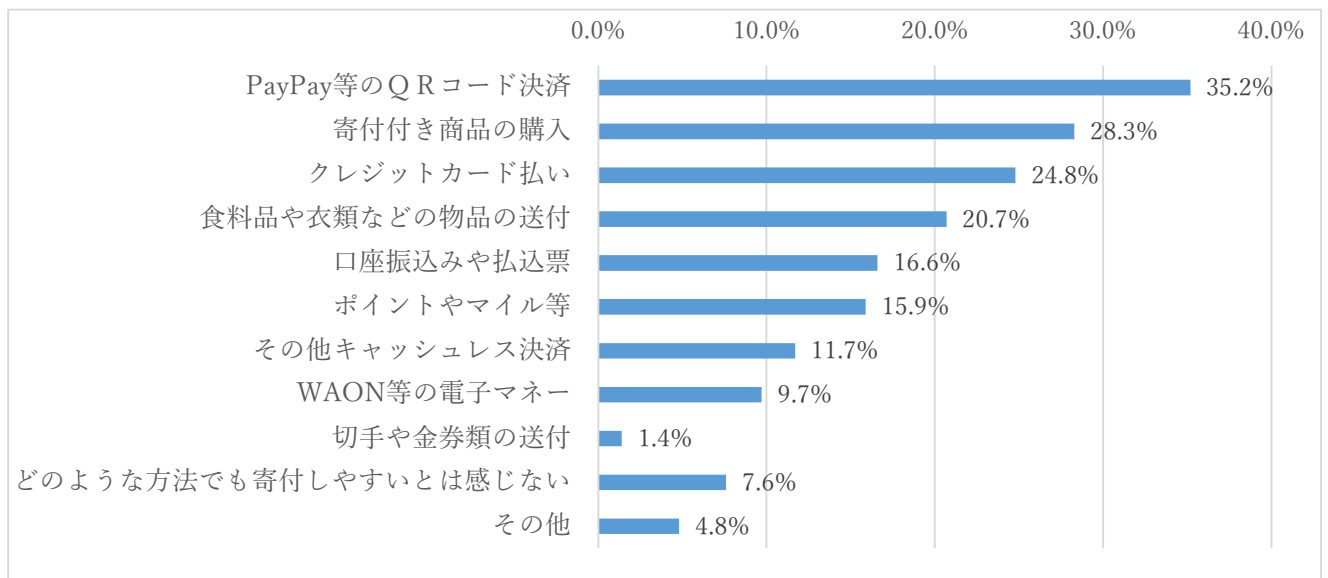


Q10：「状況に関わらず寄付はしない」と考える理由を教えてください。【自由記載】（N=7）

- 寄付したお金や物品が、横流しやら横領される事が普通の様で、曾野綾子の本にはよく書いてあるのと、街頭寄付活動の金も、自分たちの交通費や、食事代等を寄付金から使ってよいようなので、だいたい寄付金等が横領されているのではないかとこの事で寄付はしない。寄付金等がどのように使われているかまったくわからない。マスコミでもやらないし、そもそも寄付金がいくら集まったかも言わないし、本当の事は言わないでしょうね。もっとも、町内での各種寄付は強制なので「寄付はしている」かも。
- ①私的にも公的にも多方面からご援助いただいている分際で寄付をしている場合ではないため。
②寄付をもとにした活動全般が、根本的な課題解決を目標とするものではなく、表面的で焼け石に水のような内容である印象が強いため。
- 寄付金が必要とする人のために活用される確実性がないためです。
- 自分が寄付して欲しいから。
- 税金を相応に払っているため
- 適切に使われるか分らない。払うべき税金はきちんと納めている。自分より裕福な人が寄付すればよいと思っている。寄付ではなく例えば観光で観光地や宿泊施設等何かに対しての対価を払うことが微力ながら経済を回すことに繋がっているのではないかと思う。
- 生活に余裕がないため

Q11：今後寄付をする場合、どのような方法であれば寄付しやすいと感じますか。主要なものを2つ選んでください。(N=145)

項目	回答数	割合
PayPay等のQRコード決済	51	35.2%
寄付付き商品の購入	41	28.3%
クレジットカード払い	36	24.8%
食料品や衣類などの物品の送付	30	20.7%
口座振込みや払込票	24	16.6%
ポイントやマイル等	23	15.9%
その他キャッシュレス決済	17	11.7%
WAON等の電子マネー	14	9.7%
切手や金券類の送付	2	1.4%
どのような方法でも寄付しやすいとは感じない	11	7.6%
その他	7	4.8%



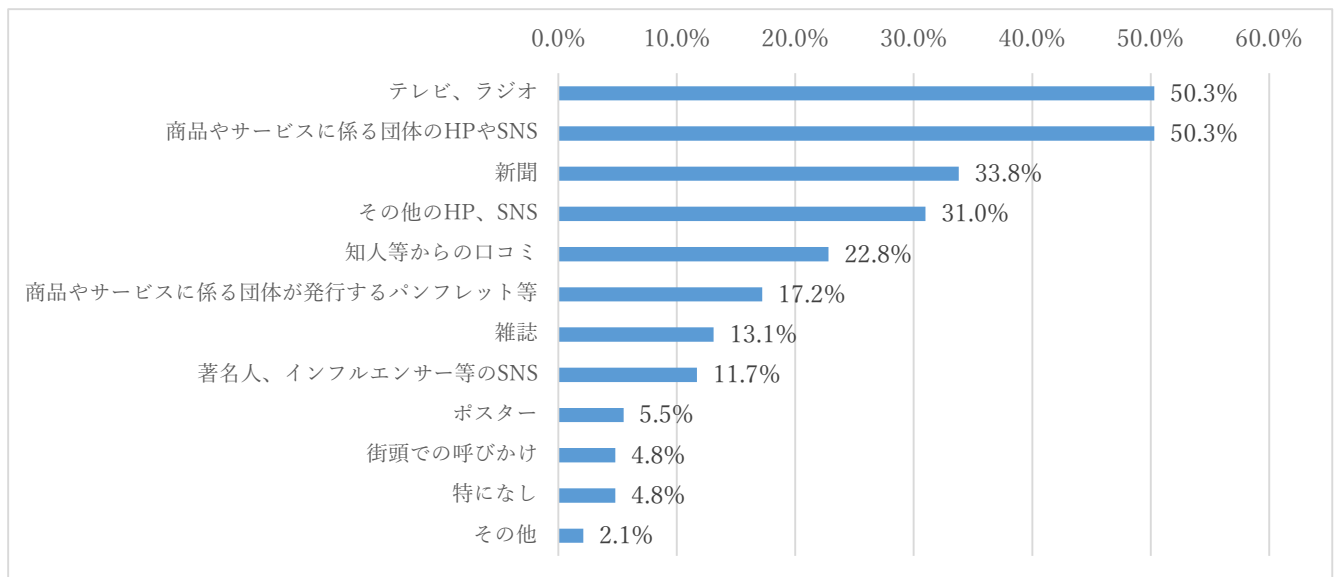
<その他の意見>

- ・現金
- ・手続きの楽しさのみを取るならQRコード決済がいいが、決済会社に寄付金から手数料が入るようならばやりたくない。
- ・店頭
- ・スーパーに設置してあるフードドライブのような店やその施設に直接的に物やお金など寄付できる場所
- ・現金

- ・身近に方法などに詳しい人がいる
- ・手数料・送料のかからない物品の送付、リサイクル回収のような街中でのポスト設置形式の回収

Q12：普段、商品の購入やサービスの利用にあたってよく参考とする情報源はなんですか。主要なものを3つ選んでください。(N=145)

項目	回答数	割合
テレビ、ラジオ	73	50.3%
商品やサービスに係る団体のHPやSNS	73	50.3%
新聞	49	33.8%
その他のHP、SNS	45	31.0%
知人等からの口コミ	33	22.8%
商品やサービスに係る団体が発行するパンフレット等	25	17.2%
雑誌	19	13.1%
著名人、インフルエンサー等のSNS	17	11.7%
ポスター	8	5.5%
街頭での呼びかけ	7	4.8%
特になし	7	4.8%
その他	3	2.1%

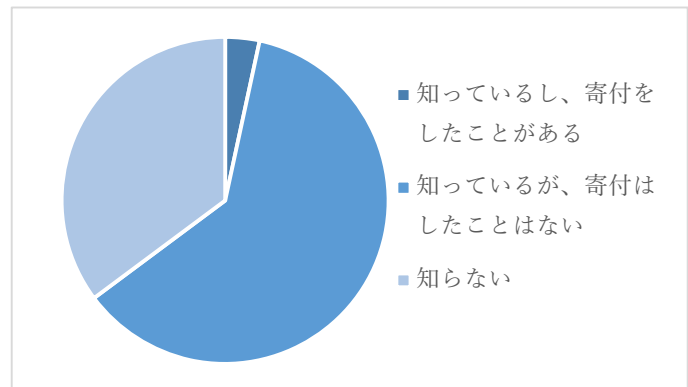


<その他の意見>

- ・店頭のPOP
- ・商品を比較できるサイトの利用など
- ・Webサイト

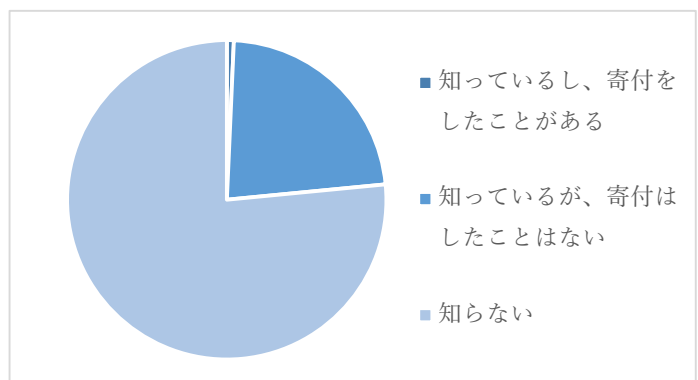
Q13：地方自治体の中には、ふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングを実施している自治体もありますが、こうした取組があることを知っていましたか。

項目	回答数
知っているし、寄付をしたことがある	5
知っているが、寄付はしたことはない	89
知らない	51
合計	145



Q14：静岡市では、クラウドファンディングの仕組みを活用して市が寄付金を募り、市民活動団体に交付する事業を実施していますが、この取組を知っていましたか。（1つ選択）

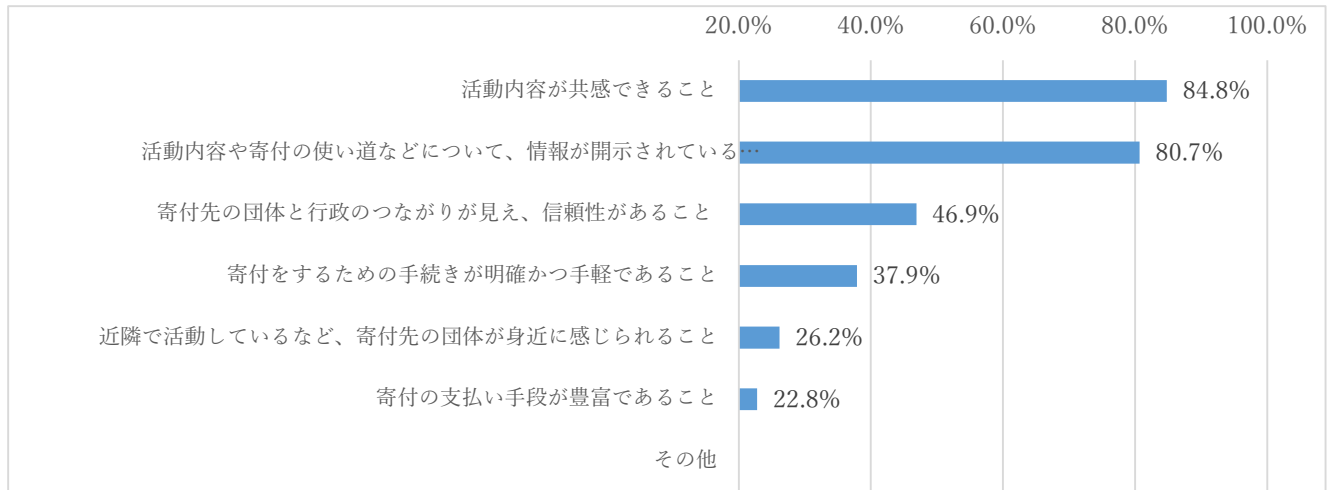
項目	回答数
知っているし、寄付をしたことがある	1
知っているが、寄付はしたことはない	33
知らない	111
合計	145



Q15：今後寄付をする場合に重要だと思うものを3つ選んでください。（N=145）

項目	回答数	割合
活動内容が共感できること	123	84.8%
活動内容や寄付の使い道などについて、情報が開示されていること	117	80.7%
寄付先の団体と行政のつながりが見え、信頼性があること	68	46.9%
寄付をするための手続きが明確かつ手軽であること	55	37.9%
近隣で活動しているなど、寄付先の団体が身近に感じられること	38	26.2%
寄付の支払い手段が豊富であること	33	22.8%
その他	1	0.7%

令和5年度 静岡市市政アンケートモニター調査



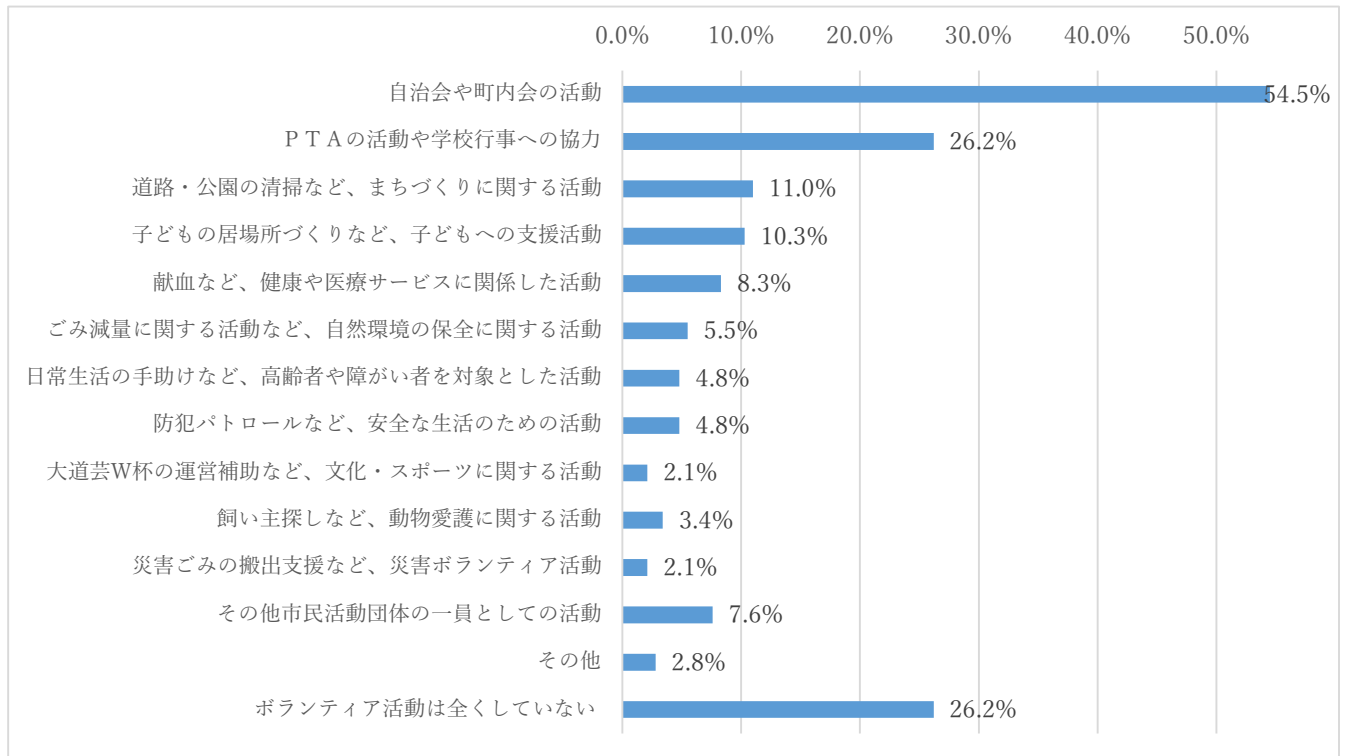
<その他の意見>

- ・事業者が自身で運営しているサイトであること。(中間業者へのマージンが発生しない、もしくは割合少なく、寄付先にちゃんとお金が届くこと。)

Q16：直近1年間において、以下のような地域や社会のための活動（ボランティア）をした経験はありますか。該当するものをすべて選んでください。(N=145)

項目	人数	割合
自治会や町内会の活動	79	54.5%
P T Aの活動や学校行事への協力	38	26.2%
道路・公園の清掃など、まちづくりに関する活動	16	11.0%
子どもの居場所づくりなど、子どもへの支援活動	15	10.3%
献血など、健康や医療サービスに関係した活動	12	8.3%
ごみ減量に関する活動など、自然環境の保全に関する活動	8	5.5%
日常生活の手助けなど、高齢者や障がい者を対象とした活動	7	4.8%
防犯パトロールなど、安全な生活のための活動	7	4.8%
大道芸 W 杯の運営補助など、文化・スポーツに関する活動	3	2.1%
飼育主探しなど、動物愛護に関する活動	5	3.4%
災害ごみの搬出支援など、災害ボランティア活動	3	2.1%
その他市民活動団体の一員としての活動	11	7.6%
その他	4	2.8%
ボランティア活動は全くしていない	38	26.2%

令和5年度 静岡市市政アンケートモニター調査



<その他の意見>

- ・国際支援（発展途上国の子どもに対する支援活動）
- ・藤枝市の玉露茶摘み援農ボランティア
- ・静岡ホームや乳児院のボランティア
- ・清水港客船のお見送り（お出迎え）

Q17：応援したい市民活動や団体があれば、教えてください。【自由記載】

- ・保護猫活動に協力したいです。
- ・台風15号で活動していただいたボランティアの方々、これから何か起こった時にお願いするボランティアの方々へ応援したい。
- ・子ども食堂や、勉強が苦手な子どもに勉強を教えるなどの子どもに関する活動を応援したい。
- ・子育て世帯のみえない貧困問題や子どもの居場所づくりなど、子どもを地域で支えるための活動にもっと力を入れてほしい。あと、どこの学校も老朽化が進んでいて、教育環境はひどいと感じる。数年前にエアコンがようやく付いたものの、トイレはまだほとんどが和式。このご時世に家庭にない和式トイレが主流とはいかがなものか。非常時には避難所にもなることを考えると、早急に洋式に変えた方がいいと思う。学校の使える予算も少ないと聞く。もっと未来を担う子どもたちの環境整備にお金を使ってほしい。
- ・高齢者のS型デイサービス。
- ・子供食堂で何か手伝えることができれば、応援したいです。
- ・社会福祉協議会 等
- ・戦争で苦しんでいる人たちの支えになればいいなと思っている。
- ・災害ボランティア

- ・余った食料品などを必要としている人たちに届ける活動
- ・観光ガイドボランティア。
- ・身体が付いていかないかも？
- ・子どもを支援できる活動なら、大いに協力したい
- ・市町村対抗駅伝など
- ・大学のゼミ活動等
- ・子供の居場所づくりやセーフティーネットになるような活動をしている団体
- ・支援が見落とされがちな若い世代（学生や30代以下の人）を支援する取り組みは応援したいと思っている。
- ・災害時などに、自主ボランティアとして参加する人たちへの支援。（具体的に支援団体などが見えにくい点はありますが…）
- ・後期高齢者であるため、できることの範囲が大変狭い。でも、困っておられる方への支援ができればして幸せだ。「自分に何ができるだろうか？」頻繁に考えていることだ。できることは、惜しみなく支援させていただきたいと思っている。でも、こちらから足や手を差し伸べることは控えている。相手の考えを尊重したいからだ。だからこそ、助けを求めている場合は、声を出してもらいたい。できることはしたい！とりあえず金銭で言えば、介護保険を使わないことで社会貢献と考えている。あんなに高額な介護保険料…。
- ・『食育ボランティア』 7月31日から健康支援課の講習を受ける
- ・茶畑は静岡が誇る美しい風景です。担い手が高齢になり耕作放棄地が増え続けているのも現状です。経済的に厳しい環境にある若い茶農家を応援したいと思っています。
- ・子どもや子育て世帯の生活の助けになる少子化対策につながるような活動。既存の活動を充実させるのではなく、全く新しいことにチャレンジするような試み(今まで存在しなかった施設や仕組み、公共サービスを作るなど)
- ・わからない
- ・不登校の子どもたちが学校へ通っている子どもたちと同じくらい充実した学習に取り組めるような活動がもっと広がればいいなと思います。以前まで清水区でフリースクールを開設していたフリースペースPUPPEさんは私も子どもたちの学習の補助という形で活動に携わらせて頂きましたが子どもたちがとても生き生きとしていて本当に素敵な場所だなと思いました。
- ・子育て中なので、子どもの生活支援や教育支援に関連する活動があれば、応援したいです。
- ・①災害ボランティアの団体客
- ②犬や猫の譲渡会などをやっている団体
- ③ヤングケアラーを無くす活動
- ・犬等の殺処分を減らすための動物保護活動。
- ・子どもの学習支援活動。
- ・高齢者の集いの場運営やS型デイサービスの活動。
- ・子どもたちの学習支援、地域活動支援など要請があれば協力したい
- ・特別支援学校に通っている子どもが気になります。家の近くに学校があるのと、子どもの教育に関心があるのが理由です。最近広報で障害者の方が描いた絵を封筒にして売っているという記事を読みました。子供たちがどんな進路を通して社会へ参加していくのか、関心があります。幸せな人生を送ってもらえるように、手助けはできないかと考えます。
- ・町内会の防災訓練（安東北部）

近所にお年寄りが多く、このような機会を使ってコミュニケーションをとっていきたいと思います。

- ・子育てサロンや子ども食堂の活動を応援したいです。

- ・子育て支援

- ・清水おもちゃ病院

- ・困窮家庭の子女の放課後の学習支援

継続的な海岸清掃

公園の定期的な清掃・樹木/花壇の維持

- ・①小さな子どもの長期入院に付き添う親御さんを支援する活動。「NPO キープ・ママ・スマイリング」

- ②子ども食堂や学童保育の延長など、働く親御さんの子育てを支援する活動。

- ・「こども10えん」を企画してる「まちなびや」

- ・交差点などのセーフティゾーンの花壇や植栽をなんとか整備してあげたい。見通しも悪いし見映えも良くない(中島南、インター通り)

- ・子ども食堂や小学校の朝の旗振りをしてくれる方たちに感謝しています。子どもたちのためにがんばっている活動を応援したいです。

- ・①各地域神社等の氏子組織

- ②水防団消防団

- ③里親支援センター、静岡ホーム、静岡乳児院等の児童養護施設や団体

- ・地域猫や保護猫の活動。外猫は増えても猫にとっても人間にとっても良いことではないので、できることがあれば応援したい。

- ・ごみ拾い。綺麗になって損はないし海に流れていくのを予防できる。

- ・やはり、困っている家庭の子どもたちが気になります。それに障がいのある方が気になります。

- ・子供に関することに興味がある。

- ・近所に、お年寄り、子供のための活動の場があります。(NPO法人)

土曜日や平日の学校が早く終わる日など、子供を見てもらえる(食事有り)場所がある。働く人を応援する場は、とてもありがたく助かる場所。そんな場所で私も誰かの力になりたい！一緒に働きたい！と思います

- ・子供たちの食、夫婦共働きのため寂しい思いをしている子供たちを支える活動を応援したい

- ・子供たちへの支援活動

- ・子供食堂、生活困難者

- ・エスパルスが強くなるよう、もっと頑張ってもらえるよう応援したい。また、介護している人々がもっと金銭的にも、精神的にも気持ちが高くなるような支援があれば嬉しい。自分の家庭もあるのに、仕事を辞めて介護しなければいけない人など。

- ・障害者の家族支援組織や親の会が運営する授産所

- ・①わたしのうち こどもっち

生活困難の中支援物資をして貰い助かった。

- ②災害ボランティア団体

沢山の被害者方がお世話になり助けて貰ったから。

- ・災害ボランティア団体は、これからもっと自然災害も多くなると思うので、数多く、期間も長く必要だと思います。

- ・具体的には分からないが、こどもに関することは積極的に応援したい。

- ・災害に関する活動にはできる限り協力したいと思う。
- ・車椅子ユーザーなので、イベントに障害者でも参加しやすいようサポートしてくれるボランティアがいると嬉しい。企画から参加してみたい。
- ・こども食堂など子どもの居場所を与えてくれてありがたいと思います
- ・地域の清掃活動
- ・静岡の魅力を発信する団体。
- ・芸術・工芸品や絵画、デザイン、演技等を真剣にやってる人達や団体
- ・一人暮らしの高齢者の方の見守り活動
- ・地元に、道の駅をつくる活動
- ・こども食堂などこどもの将来に関する活動はがんばって欲しいし、手助けしたいと思っている。
- ・こども食堂や放課後の校庭開放など、子どもたちの居場所づくりをされている団体さん(私は3月で辞めてしまいましたが)を何らかの形で応援していきたいと思っています。

災害ボランティアさんたちの活動には本当に頭が下がる思いでしたので、自身も協力したいです。

- ・①県外ですが、フィリピンへの寄付活動を行なっている taOla (タオラ) さん。衣類、雑貨の寄付。Instagramで収支報告や現地での活動報告が見られる。

https://instagram.com/rena_taola?igshid=MzRIODBiNWFIZA==

- ②特別支援学校並みのアート活動の指導を普通級、支援級のこども達にも支援してほしい。

[waC&atelierQUOKKA](https://instagram.com/m.susumu_wac_quokka?igshid=MzRIODBiNWFIZA==)

https://instagram.com/m.susumu_wac_quokka?igshid=MzRIODBiNWFIZA==

- ・「CoderDojo」など、市民(主に子ども)のデジタル学習をサポートする団体の、PC等の購入に
- ・動物愛護関係の団体 環境系の団体があれば応援したいと思っています。
- ・災害ボランティア
- ・ダウン症を持つ親の居場所作りをしている団体。(トリクマClub)
- ・市民活動を応援したいと思うが、活動をあまりよく知らないのもっと身近に感じたい
- ・希望や勇気を与える、スポーツ団体。
- ・特になし
- ・こども食堂は！有意義なので是非応援したい。

親の収入の理由で、塾に通えない子供たちもいるので、寺子屋のような放課後デイサービスを運営する組織があれば、寄付したい。

- ・災害ボランティア
- ・町内の清掃活動(ごみ拾い)、手作りポスターを貼る。毎朝犬の散歩をしているとタバコのポイ捨てがとても多いです。活動をすれば辞める人が少しでも減るのでは？

Q18：その他市民活動や寄付に対する考えやご意見があれば自由に記載下さい。【自由記載】

- ・家庭での不用品などでバザーを開催する。

企業にも呼びかける。

- ・以前はるな愛さんがテレビでこども食堂に関する話を少しだけしており関心を持ちましたが、どこにあるのか、どのような場所なのか、具体的に何もわからず、また、はるな愛さんの話を聞くまで全く知りませんでした。困っている人たちも沢山いるはずなのに、困っている人がどこに、どれだけ存

在するのかも、その人たちはしっかりと情報を得ているのか等、全くわかりません。私の母は、腐るほどお米があるから、困っているこどもがいたらみんな家にご飯を食べにすればいいとよく言っています。こども食堂だけに限らず誰かの手を必要としている人、そしてその人たちの為の活動等、両方の情報があれば、平凡な市民でも何か助けになれるのかなと思っています。

- ・ 寄付金が適切に使われているかの情報提供があると、安心して寄付ができると思います。
- ・ 出歩くに困難な人もいますので、町内で寄付を集めていただくと参加出来るのではないかなと思う
- ・ 町内で高齢者のS型デイサービスのボランティアを数年やっています。正直ボランティアをしている方が皆高齢者ばかり。参加者なのかボランティアなのかかわからないし、高齢な方ばかりなのでみんな我が強くて若い人は手伝いづらい。このままでは若い人のボランティアは増えるとは全く思わないし同年代を誘えない。若い人がいない事もあって活動内容が広がらずボランティアも増えない。補助金をもらっているから寄付金はいらないかもしれないが、外に出てくる高齢者だけではなくもう少し引きこもっている高齢者の方にも目を向けた方がいいと思う。
- ・ 市民活動で寄付を募って、収支報告、活動報告が市民に納得されるようであれば、静岡市の発展に繋がるので、頑張って活動してほしいです。
- ・ 組織が明確である事。きちっとした経理であり使用用途が明確である事。年度末の収支報告書を必ず開示する事。
- ・ ボランティア活動に気軽に参加できる内容のものがあれば市民が参加しやすいと思います。
- ・ 内容が開示されていて、信頼できる団体であれば寄付も増えると思います。
- ・ ボランティア活動としては、県立博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム」のツアーガイドをやっており、全くボランティア活動をしていない事はない。また町内の役員等の活動は、強制(順番)なのと行事が多すぎ、また数人の役員が町内を牛耳っていて、大いに不満であり、やり難い。町内活動はやりたい衆だけがやれば良い。人に強制するなどと言っていますが(笑)
- ・ 寄付したお金の利用先を明確にしてほしい。
- ・ この年齢で出来るボランティアがあれば、参加したい
- ・ やはり税制度の問題が大きいと思います。せめて、80%は非課税にしてほしいと思います。
- ・ 若者にとって市民活動と言われるとハードルが高い。市民活動の意味を知りたい。市民活動を知る講座などがあればいいと思う。
- ・ 安倍川花火大会や大道芸など静岡市が主催や協賛している催しに、観覧席や抽選券などの特典を付けた寄付やボランティア活動があると市民の関心が強まり、寄付金が増える事によって活動内容が広がり、市民の為にもなると思います。
- ・ 現金を持ち歩いたり、銀行でお金を引き落とししたりする事がないので、寄付はキャッシュレス対応だとありがたい。個人的には、「対象商品を購入すると〇円寄付される」「商品購入時に特定のクーポンを提示すると寄付に繋がる」といった取り組みが参加しやすくて良いと思う。
- ・ 寄付行為が、減税に大きく関わる点は理念として、理解しがたい
- ・ 社会に貢献して下さっておられる方々に、ただただ感謝！！！！有難い！！！！
- ・ ボランティアを行ったことによる活動の成果が明確に分かると参加しやすいと思う。
- ・ 楽しく気軽に寄付できる仕組み作り。海外の寄付の取り組みについて勉強したり知る機会を作る。
- ・ 寄付金を募ること自体が、金額が集まらなくてもその活動のアピールになると思うので、もっと広く行ったらいいと思う。寄付を受け付けている活動がジャンル別に掲載されたHPがあれば、継続的に寄付をする人が増えるのではないかな。
- ・ 市民活動自体、どこで、なにを行っているのかわからず、身近に感じられない

・物価高も叫ばれている昨今、やはりどうしても「ふるさと納税の返礼品」のような何か見返りがないと、自主的に寄付をしようという人は少ないのではないのでしょうか。「ただの寄付」はなかなかしづらい現状だと思います。「寄付」に行政が関与するのであれば、返礼品とまでは言いませんが、何か市民の利益になるような見返りがあるといいのではないかと考えます。

・振り込みなどは、名前を書かなくてはならないので、そうすると、また、催促されてしまうことがある所もあるみたいなので、その場で、持っている金額を寄付したり、地区で集めてくれるものに協力したいと思っています。

・静岡まつり、大道芸ワールドカップ、静岡マラソン、安倍川花火大会等、大きなイベント時にブースをだして静岡市が後押しする団体寄付の宣伝、その場での寄付及び継続寄付の登録受付。

・寄付や募金に関しては、町内会などがほぼ上意下達形態で会員にほとんど強制的（組織として会計から一括寄付）することが常態化しているので、簡単に言えばほとんどの市民が何らかの寄付をしている結果となっている。（社協、赤十字、赤い羽根、緑の羽根、神社、消防団・・・。どんどん増えつつある）町内会などが順番制で役員決定しているので不本意ながら市民活動に参加させられている。このような体制が確立しているのが大問題。自治会町内会も半ば行政の下請け組織になっているのも極めて姑息。

・労力を提供する市民活動、寄付については積極的に対応していきたいと思っています。

・市民活動の内に怪しい団体が有り、しっかり取り締まりをやってほしい。

・寄付を募り活動を支えるのは重要なかもしれないが、寄付がなければ成り立たない＝活動が不安定なのではないのか。それで安定的な活動ができるとは思えない。

・PTAや自治会活動に関しては、本来自主的に行うものであると思いますが、実際には、強制的に活動させられていると感じる。昔ながらのやりかたや、いまの時代にそぐわない感覚や内容が多いと思う。見直すべきだと思うが、それを多くの人々が話しているだけで、なにも進まない。どうしても必要な活動なのか、疑問。

・ユニセフに寄付した事がありましたが、その後の報道で、職員の報酬がやたら高額だとか、CMIに出演している有名芸能人がそのギャラで豪邸を建てたという話があってやめました。やはり寄付金の使い方に信頼が無いと寄付したくありません。

・町内自治会が赤い羽根募金などの活動をする際、各個人や家庭に対して自由な募金依頼をしないで、自治会費として既に徴収したお金から全家庭一律の金額を募金として拠出しているが、この方法では市民の募金に対する意識は芽生えず悪い慣習である。

市民に対して、心のこもった募金のやり方を考え直させる必要がある。

・①いわゆる寄付についてですが、町内会で半強制的に「町内会費からまとめて寄付」のようなものが未だにあり、使途もはっきりしないイメージで、印象が良くない。

②災害時など少しでも寄付したいと思っても、銀行や郵便局の窓口まで出向かなければならず、結局できなかったということが、これまで度々あった。振込手数料が無料の銀行になると、とても気軽には寄付できなかった。

③昨年の清水の水害の折は郵便局まで行って寄付したが、正直、被災された方にいつ届いたのか、そもそもどんな方に届けられたのか実感が未だにない。ネットで気軽に寄付できて、後日一斉配信で直接メールで報告が届けば、また次もという気持ちにつながる。

・市民活動は、好きで勝手にやつてるイメージもあります。動物愛護などは、好き嫌いもはっきりしているので、共感しにくいところもありますので、寄付をするというのは、活動をよく理解したところにしか、したくないです。自治会活動をしています。市民活動、ボランティアだと感じます。自

治会費 は寄付ではないとはおもいますが、かなり寄付金だと感じます。しかし、自治会活動役員を引き受け、地域でくらすのは、断然楽しくなりました。SNSの社会で、情報多すぎて、良くも悪くも自己判断しがちなので、身の回りのだれから貰った信頼できる情報かが いろんなことをきめる判断材料になるな、とかんじています。

- ・個人が参加する方法が分からない

- ・信頼できる店頭などにおいてある募金箱には、お釣りなどを募金しやすいです。自分が信頼している会社などを通して(例えば、伊勢丹とかイオンなど)寄付を呼びかけてもらえ、また報告などしてもらえると安心して寄付できると思います。

- ・①寄付金が税控除になる団体かどうか判別しやすくしてほしい。

- ②ボランティア活動している団体は内輪で行動していることが多く新参加者は入りにくい。もっとオープンになってほしい。

- ③寄付金などの使途について厳格に監査してほしい。東京都でのコラボ問題など行政がNPOと慣れあっている事例もあった。静岡でもそうしたことがあるのではないかな。

- ④ボランティアや寄付の意義は分かるが行政が過度にそれに期待しすぎるのもどうか。本来は行政の責任で行うべきものを町内会や各種団体に依存し過ぎている面があるのではないかな。ボランティアにしてもそれなりの対価や優遇処置、負荷軽減がないと参加する人は減っていくのではないかな。

- ・地域猫、保護猫に関する事を回覧板でお知らせするのも良いと思う。静岡は特に高齢者が多いからこのようなアナログな方法が一番目につくし、高齢者じゃなくても一度は目にする。HPなどは関心がなければ調べないけど回覧板等なら流れで目にする事ができる。

- ・地域に暮らす子どもたちへの必要な支援をしたいと考えているが、どのように行動してよいか分かりません。そういう人は多いと思います。もったいないと思います。私自身一歩踏み出す勇気が足りないと感じます。きっかけを作っていただけるとうれしいです。

- ・ボランティアの情報がどこをみればあるのかわからない、またボランティア活動に何か入りにくい。この2点は工夫が必要な気がする。いつでも見られるWebサイトの立ち上げでビデオを流すなど工夫してほしい。

- ・第1回と2回のアンケートでは認証コードが時間切れで回答できなくて後日文書でお送り頂き回答することが出来ました。今回から送受信の設定を変更することで10分以内の回答が出来るようになり担当して下さった方によりしくお伝え下さい。

- ・どんな活動があるのか、全体を知りたい。

- ・問9 の一番上の、返礼品などのメリットがあるものは寄付と言えるのですか？ 色々な物の物価が上がっていて今はとても寄付する余裕はありません。

- ・寄付できる物を寄付する手立てがわからず、もったいないと思うけど処分してしまう。色々なことを携帯で手続きするのは高齢者にとっては苦痛。信用ができて手軽に寄付できればいいと思う。

- ・町内会回覧などで回ってくる寄付は、半強制的に感じて共感出来ない

- ・情報が身近に取得でき、だれでも気軽に出来る寄付や、活動があるといいです。

- ・寄付により、このようなことができました、ということを明確にしてくれると、寄付も増えると思う。

- ・今回の災害で個人事業主が、声掛けで集め折角の支援物資を配りましたが、最終的に私物化して未だに自分で使用。世間的には支援活動して良い顔見せているが、結果は違う。折角のご好意をこのような事が無い様に改善していく方法が必要だと思う。

- ・市民活動・ボランティア団体をもっと沢山の方々に伝えるネットワークづくり。何処にどの様な団

体が有るのかわからないから。

- ・動物愛護に力を入れて欲しい。人間は、どうにかなるもの。家庭事情により施設に預けられている子もいますが、人間相手ならなんとかあります。が、犬猫、その他動物たちは守ってあげないと、と思います。

- ・最近、ベルマーク等を学校で集める事を聞かないので学校関係で何かあると多く集まり良いのではと思います。でも、学校だと義務感がでてきてしまうので強制のないように。

ドラッグストアやスーパー等で商品を買うと知らず知らずに寄付に貢献されているのも良いかと思います。

- ・上記の選択肢にもあったが… 寄付した金銭、物資などが、実際にどのような経路でどのように使われているのかという詳細な情報が得られれば、寄付に対する共感も得られやすいと思います。また、窓口も手軽で個人の負担が無いのが良いです。例えば、まだ使用できる不用品を寄付したくても、寄付先の情報を得ること、寄付先に持っていくまたは送付すること、その期日まで保管しておくことよりも、週2回収してくれる近くのごみ捨てに出してしまったほうが簡単です。

- ・もっと具体的にわかりやすく情報を流して頂きたいと思う。

- ・寄付する機会があまりなくて、ボランティア活動もしていない。何かきっかけになって、協力したいと思う。

- ・スーパーなどで、寄付金の募金箱を見かけますが、集まった金額と、そのお金が、どうなったかと、しっかり記載されていると寄付して良かった、と安心できます。

- ・昔、よく見かけたガールスカウトなどの街頭募金、懐かしいです。手軽で良かったです。

- ・ユニセフなどのCMを見ると考えさせられますが、物価も上がっていて経済的支援は難しいなと思ってしまいます

- ・身近に活動できる場があるとよいです

- ・せっかく素敵なものがたくさんあるのに、既得権益や古い風習、やり方に邪魔されて上手にいかせていないところが多くあると感じています。静岡をよりよくするためには活発な地域活動が必須だと思います。また、寄付についても静岡ではなく他の団体の方が魅力的な場合が多いので、ぜひ寄付活動を活発にする取り組みに期待したいと思います。

- ・生物学や植物学や歴史学や医学など学校や会社を増やして欲しい。そして音楽や演技や芸術などの文化分野の学校や仕事も増やして欲しい。そして文化都市を目指して流行先端地区をほしいです。

- ・子育て世代なので、子どもたちに何かプラスになることをしたいという気持ちはあります。でも、そもそもどういう団体がどんな寄付を募っているかを知らないで、小学校でチラシをもらってくると知る機会ができてありがたいです。

- ・募金や寄付など受け身ではなく、労働の対価で資金を集める手段があってもいいと思います。

- ・金銭だけでなく、土地等の寄付（市などにお任せする）があれば、放棄地が減るかもしれない。

- ・「広報しずおか」に気になる活動や少額からでも寄付できる先を毎月載せてもらうと、興味がわくかと思う。

- ・よく感じることなのですが、普段の生活でかなり意識をしてアンテナを張っていないと、ボランティアや寄付の情報は入ってこないです。興味のある方は常にアンテナを張って生活していると思いますが、そうではない方々にもっと知っていただくためには、アナウンスの仕方も工夫が必要だと思います。テレビやラジオのメディアもですが、市のホームページも限られた方ばかりが見ています。

もっと、不特定多数の人間が集まるような観光先やショッピングモールなど、常に誰かしらの目に入り、目に留まる場所での告知や宣伝が必要だと個人的には思います。正直に申し上げますと、自分の生

活に手一杯でなかなか余裕が無いので、多額の寄付や時間を割かねばならないボランティアはハードルが高いです(特に子育て世代は無理です)。自宅でもどこでも、思い立った時にもう少し手軽にできる、QRコードを使った寄付も今後拡大していくと良いと思います。宜しくお願いいたします。

- ・経済的余裕がないと、寄付できないと思います。
- ・寄付は心を贈る一面があると思うので、大きな親切であることも、大きなお世話であることもあると思う。的確なニーズを集め、拡散、情報の統合、的確な回収方法を日頃からフォーマットを準備したり、訓練して欲しい。そのために、行政も関わってフォーマットの提供やフォローをすると共に、統括して欲しい。必要を訴える人の心と、贈った人の心が伝わるフォーマットだと優しさが視覚化されるのではないかと期待している。例えばお金、物質だけでなく言葉、メッセージ、イラストを伝えるシステムだ。
- ・寄付のしやすさ、寄付先へちゃんと届くルート、寄付後の活動、この繋がりが見えるところへ寄付したいと考えています。現在は手続きが煩雑だったり、マージンを多く抜かれていたり、寄付後の状況を随時ネット配信していなかったり、
- ・子供達にお金がかかるため、大きな寄付は正直できませんが、小さな小さな寄付でも受付けてくれるなら、自分にもできるかもしれないかな？と思います。あと、自分の寄付する団体の信頼性が明確にわからないと 寄付は怖いです。
- ・欧米ではなぜあのように寄付が盛んなのか、その理由から何かヒントが得られるのではと思います。寄付の形より、フリーマーケットなどの方が物の寄付は盛んかもしれません。
- ・適切な開示
- ・町内の義務的な寄付は無くして欲しい。環境問題に取り組む市民活動に参加したい。
- ・市民活動のことがわかるような発信を静岡市の公式SNSなどでもっとしてほしい(見たくなるような形で)
- ・ここ数年は、コロナのせいもあり、なかなか参加する機会がないです。参加しやすいと思うのは、いろいろな意味で、みなを引っ張ってくれるリーダーがいる団体。
- ・手軽にできる寄付があれば若い人でも参加できるので良いと思う。もっと告知をした方が良いと思う。
- ・寄付を募る団体は、青葉シンボルロードなどで内容を発表する機会を作ってはどうか？
- ・家庭で使用しなくなった雑貨や洋服を集め、フリーマーケット(町内)で売り、その売上金を寄付する。
- ・特にありません

◇所感◇

今回のアンケートでは、市民の皆さんが寄付を行うにあたり重視することとして、寄付先の団体の活動内容に加え、寄付が適切に使われているか、またそれを確認するために適切な情報開示がされているかなどの点が挙げられていることがわかりました。

その他、市民活動に関する情報が得ることが難しく、寄付やボランティアに参加したいが、できないといった現状があることもわかりました。

市民活動は広く市民の理解を得て実施していくものであり、市民活動に取り組む市民、市民活動によって支えられる市民、市民活動を支える市民等との相互理解が重要です。

これまで静岡市では「ここからネット」を通じた市民活動に関する情報の集約及び発信やふるさと納税制度を活用したクラウドファンディングによるNPO等の支援事業の実施により、市民活動団体の情報やいただいた寄附の使途の開示について推進してきましたが、より一層の取組が必要であると改めて認識いたしました。

今後、市民活動を促進していくための支援策の検討にあたり、今回のアンケートで得たデータを活用していきたいと考えています。また、効果的な情報発信の方法についてもあわせて検討していきます。

貴重なご意見をありがとうございました。